

福みえ社

伝える
つながる
ひびきあう

12
2019 December
No.345



地域の人々の応援を受けながら、みんなで頑張っています！



サンタになって大はしゃぎ！



仲間がいると安心です



ふれあいバザーで私たちの作品を販売しました



積極的に外へ出て活動しています



笑顔忘れず元気に！

玉城町にある就労継続支援B型事業所「たまき末芳園」は、昭和60年より地域の障がい者の方に軽作業を提供し、職業、生活などの訓練を行う心身障害者小規模授産施設としてスタートしました。利用者の方々は家族的な環境のもと、作業を通じてお互い助け合うことの大切さや、働くこと、健康で過ごせることの喜びを感じていらっしゃいます。主にUV印刷機やレーザー加工機を使用して木工小物を制作し、作品を販売しています。

もくじ

- 特集：第68回 三重県社会福祉大会…………… 2
- 連載：ふくしの職場取り組み宣言 第4回…………… 6
- information…………… 7
- ありがとうメッセージ…………… 8



特集

第68回 三重県社会福祉大会

去る令和元年10月16日(水)、三重県総合文化センター中ホールで、三重県社会福祉に貢献された方々の顕彰と社会福祉の更なる発展を期して、三重県社会福祉大会が開催されましたので、そのときの内容についてお届けします。

三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員功労者

民生委員・児童委員の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
津市	市川 律子	四日市市	村山 久子	鈴鹿市	野田 うた子	東員町	三林 孝夫
津市	今井 啓子	伊勢市	古崎 昌保	鈴鹿市	宮里 祐史	大台町	村田 順二
津市	太田 千枝子	伊勢市	小林 初美	鈴鹿市	宮本 佳宥	大紀町	中西 満子
津市	岡 勝治	伊勢市	橋本 清美	名張市	奥田 眞智	紀北町	坂田 三也
津市	畑地 勉	伊勢市	橋本 さち子	名張市	森川 淳子	紀北町	長井 征資
津市	細石 健治	伊勢市	水谷 典子	熊野市	井奥 つな子	紀北町	山本 和子
津市	森田 弘子	松阪市	大西 幸代子	熊野市	中井 マサ子	紀宝町	曾越 勲
津市	山中 貞子	桑名市	伊藤 繁雄	熊野市	森村 かず子	紀宝町	竹鼻 佳珠生
四日市市	笠原 玲子	桑名市	黒田 幸美	伊賀市	伊藤 功	紀宝町	田中 啓一
四日市市	加藤 裕久	桑名市	橋本 貴子	伊賀市	東平 和己		
四日市市	古澤 敏子	鈴鹿市	里見 力	伊賀市	本田 基久		
四日市市	堀内 きぬ子	鈴鹿市	田畑 博美	東員町	小川 隆生		

(注) 民生委員・児童委員功労者 47 名の内、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

社会福祉法人・福祉施設功労者

社会福祉施設の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
津市	植村 裕樹	長谷山寮	鈴鹿市	高木 悠己子	特別養護老人ホームルーエハイム
津市	上山 宣子	特別養護老人ホーム慈宗院	鈴鹿市	中尾 謙二	ケアハウスソレイユ
津市	釜森 智久	津長谷山学園	名張市	杼村 一義	地域小規模児童養護施設若葉
津市	駒田 恵美子	特別養護老人ホーム報徳園	名張市	夏秋 えり子	こども支援センターかがやき
津市	瀬野 須弥	デイサービスセンター報徳園	名張市	福永 かほる	名張市立錦生保育所
津市	樋廻 勢都子	三重保育園乳児保育所	尾鷲市	大川 貴子	尾鷲第一保育園
津市	平賀 恵	児童養護施設なないろ	尾鷲市	岡 瑞代	尾鷲第二保育園
四日市市	谷口 早苗	特別養護老人ホームサテライトみなと	尾鷲市	鳥飼 芳美	尾鷲第三保育園
四日市市	山本 陽子	青山里会ヘルパーステーション 第二小山田特別養護老人ホーム	尾鷲市	平山 千賀	尾鷲第四保育園
四日市市	渡邊 善八	社会福祉法人徳寿会	尾鷲市	三鬼 さと子	尾鷲乳児保育園
伊勢市	真野 裕文	ルーベンハイム志摩	亀山市	辻 健次	川崎愛児園
松阪市	板庭 久美子	飯南たんぽぽ保育園	志摩市	嶋田 晴美	志摩養護老人ホーム花園寮
松阪市	辻 利文	社会福祉法人清翠会	志摩市	前田 晴美	志摩福祉センター
桑名市	猪飼 悟	特別養護老人ホームいこい	志摩市	三橋 智江美	志摩特別養護老人ホーム才庭寮
桑名市	伊藤 かより	特別養護老人ホームいこい 老人デイサービスセンターいこい	伊賀市	稲田 恵子	ヴェルデ・ヴェルデドゥ
桑名市	酒井 由香	老人デイサービスセンターいこい	伊賀市	島田 恵美子	長田保育園
鈴鹿市	上村 俊明	社会福祉法人けやき福祉会	伊賀市	高岡 ひとみ	児童クラブウイングうえの
			玉城町	小林 しのぶ	玉城町立有田保育所
			玉城町	下村 恵子	玉城町立外城田保育所

社会福祉協議会・民間団体功労者

社会福祉団体の現職にあつて、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
津市	木村 加代子	津市母子父子寡婦福祉会(津支部)	鈴鹿市	西居 明	鈴鹿市社会福祉協議会
津市	西田 すゞ子	津市母子父子寡婦福祉会(久居支部)	鈴鹿市	樋口 径子	鈴鹿市社会福祉協議会
津市	吉田 巖夫	津市老人クラブ連合会	鈴鹿市	古市 真弘	鈴鹿市社会福祉協議会
四日市市	藤田 一樹	四日市市社会福祉協議会	名張市	田中 源一	名張市身体障害者互助会
伊勢市	阪井 正樹	伊勢市社会福祉協議会	名張市	藤田 昌世	名張市社会福祉協議会
伊勢市	中村 将純	伊勢市社会福祉協議会	名張市	峯林 摩実	名張市社会福祉協議会
伊勢市	馬瀬 清美	伊勢市社会福祉協議会	名張市	山本 晃	名張市身体障害者互助会
鈴鹿市	河北 律	鈴鹿市社会福祉協議会	名張市	吉矢 寿香	名張市社会福祉協議会
鈴鹿市	柴田 晃志	鈴鹿市社会福祉協議会	紀北町	城 恭子	紀北町社会福祉協議会
鈴鹿市	中川 義文	鈴鹿市社会福祉協議会			

社会福祉協働者・団体(感謝)

社会福祉活動に積極的に協力し、特に顕著な功績があった個人及び団体

市町名	氏名	市町名	団体名
津市	大西 壽	玉城町	絵手紙サークル ゆずりは会
多気町	中野 勇		



三重県共同募金会会長表彰・感謝

共同募金運動奉仕功労者

共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な奉仕者

市町名	氏名	市町名	氏名
津市	野崎 清彦	菰野町	平井 満
鈴鹿市	藤田 充	紀宝町	西 洋美
鈴鹿市	南出 宗一	紀宝町	橋本 キヨ子



共同募金運動優良地区・団体

共同募金運動が特に優秀な地区及び団体

市町名	地区/団体名
津市	津市安濃地区民生委員児童委員協議会
津市	津市芸濃地区民生委員児童委員協議会
伊勢市	朝熊町自治会
伊勢市	城田団地自治会
伊勢市	豊浜地区民生委員児童委員協議会
松阪市	松阪更生保護女性の会
松阪市	松阪市母子寡婦福祉会
亀山市	亀山市民生委員児童委員協議会連合会
亀山市	三重県立亀山高等学校
熊野市	熊野市立新鹿小・中学校
熊野市	育生地区社会福祉協議会
南伊勢町	押漕区
南伊勢町	古和浦区
南伊勢町	飯満区

共同募金運動篤志寄付者・団体(感謝)

共同募金に多額の篤志寄付をされた個人及び団体

市町名	氏名/団体名
津市	臼井 幹生
津市	堀 元昭
津市	J Aグループ三重
津市	セントヨゼフ女子学園高等学校中学校
津市	津ライオンズクラブ
四日市市	櫻井 司朗
四日市市	佐治 英三
四日市市	清家 伊津子
四日市市	種田 節子
四日市市	新田 孝三
四日市市	松井 久昂
四日市市	四日市学生吹奏楽連盟
四日市市	四日市更生保護女性の会
四日市市	四日市市老人クラブ連合会
四日市市	四日市ロータリークラブ
伊勢市	森見 由美子
松阪市	クラギ株式会社
桑名市	岡田 康宏
桑名市	桜井 完次

市町名	氏名/団体名
桑名市	桑名精工株式会社従業員一同
鈴鹿市	鈴木 保子
鈴鹿市	呑み処たこ処たこの助
名張市	大場 成樹
名張市	寺田 伊三男
名張市	スガコー建設株式会社
名張市	名賀地区労働者福祉協議会
名張市	名張市佛教会
名張市	名張ライオンズクラブ
名張市	名張ロータリークラブ
いなべ市	株式会社水貝製作所
伊賀市	稲森 宣裕
伊賀市	田中 宏明
伊賀市	山川 公郎
伊賀市	伊賀ふるさと農業協同組合
大台町	福島 玉
玉城町	ギャラリーポナール
名古屋	社会福祉法人中日新聞社会事業団

(注) 篤志寄付者 134 名(個人 106 名・法人等 28 団体) の内、感謝状受領及び氏名の掲載についてご同意いただいた個人・団体のみ掲載しています。

共同募金運動特別協力功労者(感謝)

共同募金運動の推進に特に顕著な功績があった団体

市町名	団体名
津市	津市立芸濃中学校生徒会
伊勢市	株式会社ぎゅーとら コア店
伊勢市	株式会社ぎゅーとら 神田久志本店
松阪市	Boulangerie ままごと

市町名	団体名
松阪市	清水製茶
松阪市	お菓子工房M
熊野市	株式会社主婦の店 熊野店

三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

赤い羽根共同募金、三重県をイメージした優れた作品をデザインされた方

三重の赤い羽根賞

氏名	団体名
藤田 愛	三重県立飯野高等学校

三重県知事賞

氏名	団体名
宮本 奈実	三重県立桑名西高等学校

三重県議会議長賞

氏名	団体名
細瀨 まゆ	セントヨゼフ女子学園高等学校

三重県教育委員会賞

氏名	団体名
エケオパロズメリー マリア	津市立朝陽中学校

三重県社会福祉協議会長賞

氏名	団体名
上松 浩二	菰野町

努力賞

氏名	団体名
倉田 美雪	セントヨゼフ女子学園高等学校
石神 陽花	三重県立桑名高等学校
岡 歩未	鈴鹿市立創徳中学校
平野 眺成	桑名市立多度東小学校
河村 ルミ	伊勢市

講演

子どもとつなぐ これからの地域づくり

地域・職場・親族との付き合いが普段から少なく、放っておくと自然とバラバラになる現代の暮らし。孤立からさまざまな問題が生まれています。どうすれば自然な形で人が出会いつながっていくのか。ある民間企業の「地元へ愛着があるか」というアンケートで47都道府県のうち最下位という埼玉県で、人が出会う場をつくりだす活動をしている西川正さんにその取り組みを紹介いただきました。

埼玉で民生委員を経験 みんな誰かと話したい

私は、1967年に建設された「昭和の団地」に住んでいます。いま高齢化率が45%を超えています。数年前、その団地で民生委員をやらせていただきました。340世帯が担当で、うち一人暮らしの高齢者は93人、75歳以上は20世帯。訪問をする中で「お金がない」「息子が働かない」などいろいろな悩みをお聞きしました。「生きていても仕方がない」とおっしゃる方もいて、切なさを覚えました。

子育て支援にも関わっています。子どもはかつては、「地域の暮らしの中で、育つもの」でした。しかし高度成長の中で、「家族だけで、育てる」ものになり、さらに近年は「専

門業者に（お金を出して）育ててもらうもの」になっていきます。子育ては家族だけで頑張る、という傾向は強くなる一方で

地域でのさまざまな活動の中で、いつも感じてきたのは「世代を問わず、みんなが自分の話を聞いて欲しい」と思っているということでした。便利な暮らしと引きかえに、知らず知らずのうちに私たちが失ってきた時間です。誰が悪いということではなく、暮らし方の問題です。そこで、自然と人と人が交じり合う場をデザインし、出会う場を暮らしの中に埋め込むことができれば、と考えるようになりました。

他人同士が出会う機会を 気軽に楽しめる遊びの中で

私の活動の一つとして、路上に「こたつ」を置いて遊びの場をつくる活動があります。こたつの近くにベアゴマを置けば、シニアの方が子ども頃を懐かしむようにトライしてくれます。ほかにも路上で巨大なおセロや将棋、トランプや書道などをしておりますと、たまたま通りがかった老若男女の初対面の人が自然とコミュニケーションを取り始めるのです。今の子どもたちは約束した子しか遊ばないため、知らない人と出会う機会や自発的な行動を得る機会がとても少ないのです。路上での遊びでは、普段、話すことのない人との交流や、子どもの自発性を見いだ

す機会にもしてほしいと思っています。また、15年前にはじめた、焚き火を囲むことを通じて仲間づくりをすすめる「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンも好評です。地域では不在になりがちなお父さんも、近所の子どもたちや親たちと顔見知りになると地域への愛着が湧いてきます。まず共に遊び食べること、それが関係をつくってきます。全国にひろがっている「子ども食堂」も同じ考え方ではないでしょうか。

いま特に力を入れてとり組んでいる活動が「トークフォークダンス」というワークショップです。輪になって、向かいあった相手と、お題にあわせて1分間話をするもので、1問ごとに相手をかえていきます。中学校で大人と子どもが1対1で話す場や、仮設住宅に住む被災者やオレンジカフェ（認知症カフェ）でも実施しています。人見知りでも、たくさん話をしてくれます。自分と同じような人ばかりと話す環境や、多くの世代と話す機会のない人には、新たな出会いや異なる考えを得るきっかけにもなります。

ありがたうを互いに言える 相互関係の中で自尊心を

「ねえきいて、たのしいこと。ねえきいて、かなしいこと。わたしのすきなばしょ。」この言葉を書いたのは、ある小学生です。「ねえ」と言った時に「なあに」と応えてくれる人

がいなければ、人は誰しも不安です。子どもだけでなく、どの世代にも必要なのです。

団地の高齢者や被災者の「生きていても仕方がない」との言葉の裏には、誰にも「ありがたう」と言ってもらっていないという日常の暮らしがあるように思います。支援を受けつつ、自分も誰かの役に立つ。自分を必要としてくれる人、待っていてくれる人がいる。「ありがたう」と互いに言えるような関係性を誰もが必要としているのだと思います。

人と人が自然に出会える社会にするには、どうしたらいいのでしょうか。暮らし方が変わり約50年、初めて問われる問題です。一つ一つ私も試しています。皆さんも活動の中で良い事例を私に教えていただけたらうれしいです。

講師 Profile

西川 正 氏

特定非営利活動法人ハズオン！
埼玉 常務理事



学童保育指導員、出版社、NPO 支援センターを経て、2005年にハズオン埼玉を設立。「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンをはじめ、さまざまな市民参加型のまちづくりのプロデュースに関わる一方、まちづくりや子育て支援の研修等の講師やファシリテーターとして活動。保育所保護者会、小学校PTA、民生委員など地元での活動多数。



大会宣言

今日、わが国は、少子高齢化の進展による人口減少社会に突入し、地域における福祉課題、生活課題の複雑化、多様化にとどまらず、共同体である地域の持続への懸念も生じており、今後の社会福祉のあり方について、岐路に立たされています。

このような状況を踏まえ、国においては、2040年を展望した社会保障制度改革が議論され、すべての人びとの安全・安心のために、様々な改革が進められています。とりわけ、社会福祉分野においては“地域共生社会の実現”を基本コンセプトに、地域を基盤とした包括的な相談支援体制の整備や、地域の多様な主体が参画し、地域住民一人ひとりが暮らしと生きがいを共に創っていく仕組みづくりを図っているところです。

一方、本年も、九州や関東で台風や大雨などの災害が発生し、発災直後の住民に寄り添った支援活動はもちろん、被災地では現在でも継続的な生活支援活動などが行われています。

私たち社会福祉関係者は、あらためて、“誰もが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる地域をつくっていく”という地域福祉の理念の重要性を確認し、日々の研鑽を積み重ねていかなければなりません。そして、共に議論し、新たな地域福祉のあり方を模索しながら、その向上に努めていかなければなりません。

本日、ここに第68回三重県社会福祉大会が開催されるにあたり、人びとの福祉ニーズや地域の生活課題に対して真摯に向き合い、力を合わせて対応し、地域共生社会の実現に向け、注力することを固く誓い、ここに宣言します。

令和元年 10月 16日 第68回三重県社会福祉大会

三重県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉法人・福祉施設功労者



社会福祉法人けやき福祉会
理事長 **上村 俊明** さん (鈴鹿市)

今こそ福祉の原理を思い起こし、助け合い支え合っていく世界を

三重県職員として入庁した後、生活保護のケースワーカーとなったのを皮切りに、一貫して福祉関連の道を歩んできました。介護保険制度の導入以降、一部に効率や収益を求める風潮が強くなっているのが気がかりです。福祉に携わる方は、今一度「福祉の原理」を思い起こしていただきたい。助け合う心、支え合う力、これらは本来人間に備わっているものです。思いやりのある、おらかな世界へ。不寛容な時代を生きる我々にとって、このような福祉の理念を広めていくことが、切に求められているのではないかと感じています。

三重県共同募金会会長表彰 共同募金運動優良地区・団体

地域福祉には絶対に必要な存在、民生委員の活動に理解と共感を

知人から依頼され、当時は民生委員とは何をするのかもよくわからないまま引き受けました。それから6年間務めさせていただき、今では地域福祉のために絶対に必要な制度だと確信しています。現在安濃地区には24名の民生委員・児童委員がおり、地域の身近な相談相手として、支援を必要とする人を行政や専門機関につなぐパイプ役を担っています。活動していくうちに、私たちの住んでいる地区で何が起きているのか、何が必要とされているのかが見えてきます。ぜひ多くの方に、民生委員を経験してもらいたいと思いますね。



津市安濃地区民生委員児童委員協議会
会長 **久保田 仁** さん (津市)

連載

ふくしの職場 取り組み宣言

「働き方改革」として長時間労働の是正や多様な働き方が求められる中、三重県内の福祉の現場においても、働きやすい職場環境づくりに向けて人材育成や環境改善など様々な取り組みがなされています。本連載では、そのような取り組みを行っている福祉施設（法人）を紹介します。

● 第4回 社会福祉法人 永甲会 ●

取り組み宣言 永甲会は職員の要望に応え、働きやすい職場をめざしていくことを誓います。

社会福祉法人 永甲会では、幅広い人材を受け入れ、職員のスキルに合わせた様々な研修を行っています。今回は、同法人施設長補佐 野呂 高宏さん、法人管理本部人事教育部長補佐 田中 宏さんにお話を伺いました。



秦 一正 理事長

きっかけ

近年、職員の数が増え、平成30年を越えてきたことに加え、他職種からの転職者や外国人労働者といった多種多様な人材が増え、今後増加していくことが見込まれます。このような現状を受けて、平成30年4月にどの職員にも必要な知識、技術が得られる新たな体制作りを始め、現場の声を届けられる各事業所のサブマネージャーが中心となって研修検討委員会を立ち上げて研修計画を立てていきました。

人材育成の取り組みについて

法人内で大切にしている研修として、法人理念研修があります。理事長自らが講師を務め、全職員と顔をあわせて理念や今後のビジョンを共有する大切な機会となっています。

また、新たな取り組みとしてこれまで行っていた内部研修とは違い、外部から講師を呼んだ研修を行うこととしました。事業所ごとに研修費用として予算を割り当て、各事業所で職種を問わず必要な研修を勤務時間内に行っています。講師を招くことで職員がより広く同じ情報を共有することができ、同じ目的、目標を持ちながら業務に取り組むことができるようになりました。

さらに、新規採用・中途採用者に対しては法人の理念、介護の基本的な技術等を研修で学ぶ機会を設けています。

制度導入後の変化

こうした環境が生まれたことで、介護の質を高めたいという職員一人ひとりの意識の向上につながっていると思います。また、個人やチームに不足している部分を認識し、上司と相談をしていく中で状況に合わせて講師、研修を選択するといった次に繋がる形ができており効果を実感しています。

今後について

幅広い人材がいるため、すべての職員に対するケアは難しいですが、法人の理念や福祉人材としての意識等は共有することを今後も心掛けていきます。

また、職員が介護のおもしろさ、楽しさを感じながら働くことができるよう、視点を変えながら、現場の声に耳を傾けながら常に職場環境を広く見渡す意識を持ちつづけていきたいと思っています。

野呂施設長補佐（左）と田中部長補佐（右）▶



▶外部講師による介護技術講習会

法人名 社会福祉法人 永甲会
本部住所 〒510-0954 三重県四日市市采女町字森ヶ山 418-1
ホームページ <http://www.eiko-kai.jp/>

こちらのQRコードからご覧いただけます



information

トヨタL&F中部株式会社様から「車いす 20 台」をご寄贈いただきました

トヨタL&F中部株式会社様から、本会を通じて県内障害者施設等に対して車いすを 20 台ご寄贈いただきました。

社会貢献活動の一環として、平成 19 年度からご寄贈いただいております。

寄贈先施設代表として、社会福祉法人三重ベタニヤ特別養護老人ホーム アガペホームが受取りました。

本年度もありがとうございました。



生命保険協会三重県協会様から「福祉巡回車 2 台」をご寄贈いただきました

生命保険協会三重県協会様から、本会を通じて県内市町社会福祉協議会に対して福祉巡回車 2 台ご寄贈いただきました。

平成 3 年度から延べ 85 台ご寄贈いただいております。

本年度は、南伊勢町・紀宝町の各社会福祉協議会へご寄贈いただきました。

本年度もありがとうございました。



第 36 回三重ボランティア基金 チャリティーゴルフコンペを開催しました

三重ボランティア基金チャリティーゴルフコンペ（同コンペ実行委員会主催）を、11 月 12 日（火）、西日本セブンスリーゴルフクラブにて開催しました。90 人が参加し、参加費に含まれる寄付金 1 人 2,000 円と、プレーの中で設定したチャリティーホールの寄付を合わせ、266,500 円の寄付をいただきました。

次回は、令和 2 年 6 月 12 日（金）に開催予定です。

公益財団法人 **三重ボランティア基金**



小川実行員長（右）から寄付金を受け取る井村理事長（左）

ソウェルクラブ

(福利厚生センター) **ご加入のおすすめ**

新規会員募集集中!

\\ 会員数 268,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業（旅行・観劇・スポーツ大会等）
- 地域開発メニュー

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク ●国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●海外研修
- 広報講習会 ●接遇講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- デズニューアカデミー
- コンプライアンス講習
- e-ラーニング
- 〔 Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス, メンタルヘルス 〕

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業（※）を経営する者
 - ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業（※）
 - ・加入対象者…上記事業に従事する役職員全員（非常勤職員含む）
- ※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

掛金

- ・第 1 種会員（常勤職員向け）… 毎年度 1 万円
 - ・第 2 種会員（非常勤職員向け）… 毎年度 5 千円
- ※非常勤職員が第 1 種に入会することもできます。
※第 2 種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、**ソウェル** フリーダイヤル
TEL 0120-292-711
FAX 0120-292-722
<http://www.sowel.or.jp/>
社会福祉法人 福利厚生センター
 〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町 1-3-1
 NBF小川町ビルディング

全国約 75,000 か所の施設を割引価格で利用できる

ソウェルクラブ “クラブオフ”





ありがとうメッセージ

心も一緒に届いています

鈴鹿市社会福祉協議会（防災ネットワーク支援事業） 平成 29 年度一般配分

「鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施しました。

平成 30 年度で「鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」は 6 回目を迎えることとなりました。幸いにも鈴鹿市では、これまでセンターを立ち上げる規模の大きな災害に遭うことはありませんでしたが、毎年訓練を行い、災害時には、いち早く災害ボランティアセンターを立ち上げ、復興に向けた迅速な対応が取れるよう日頃から備えをしています。

皆さまからお寄せいただいた募金の一部は、災害時に皆さまのお役に立てるよう準備をさせていただいております。ありがとうございました。



社会福祉法人名張育成会 児童発達支援センターどれみ 平成 30 年度 NHK 等歳末たすけあい配分

クリスマス会を開催しました。

児童発達支援事業を利用されている子どもたちと家族を対象にクリスマスを開催し、53 組の家族に参加していただきました。

クリスマス会では、子どもたちの大好きなポップコーンや綿あめを作って食べました。また、いつも楽しんでいる新聞や風船を使った遊びを家族の皆さんとたくさん体験していただきました。

最後にサンタさんと記念写真を撮ったあと、お楽しみのプレゼントを一人ひとりに渡してもらい、どの子も笑顔になりました。ありがとうございました。



発行人／井村 正勝

編集人／松本 利治・広報委員会

発行所／社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目 131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <http://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力／株式会社アイリック

2019 年 12 月号（通巻 345 号） 令和元年 12 月発行

「福みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mail にて受け付けております。